

第61回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成19年5月26日(土) 午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター 大会議室
(つくば市吾妻1-10-1 つくばセンタービル内 電話852-6789)



テーマ “賞味期限て何ですか？消費期限とどのように違いますか？”

食品の安全性はどのように決まるの だろうか？

講 師 ノートルダム清心女子大学大学院教授 元食品総合研究所生物機能開発部長

ほり い まさ はる
堀 井 正 治 氏

何年前か前、雪印乳業での牛乳の賞味期限・消費期限切れ商品販売の発覚で、日本中大騒ぎになったことがありました。雪印製品は全般的にかなりの期間、消費者からそっぽをむかれ企業は信用を失い、そして莫大な損害を蒙りました。そしてまた、今回の不二家製菓の事件発生です。不二家の度重なるケーキの賞味期限・消費期限切れ商品販売事件に人々はウンザリという想いと共に、食品の購入時により注意して賞味期限・消費期限をみるようになりました。スーパー等で買物をする人々は以前にも増して陳列台の奥の方に腕を突っ込み、より新しい日付の商品を意識的に探して買っている風景が日常になりました。

しかし、家庭に冷蔵庫もない時代、私たちは人間の本来持っている五感を頼りに食物の安全性を確めて生きて来たのです。いつからメーカーの表示のみを頼るようになったのでしょうか？そして、メーカーの表示に信頼が薄れてしまったことはすでに体験済みです。それでも今日もメーカーの表示を基準に買物をしている人は沢山います。メーカーの安全基準はどのように決められているのでしょうか？本当は、十分安全なのに表示のみに捕らわれ、ゴミの山が今も沢山出来ているのが現実です。

日本では抗菌グッズなどの開発により、一部に過剰な“キレイ好き”が多くなっているという批判も耳にします。“過ぎたるは及ばざるが如し”ではないでしょうか？雑菌と共存し、五感を頼りに生きていたかつての日本人は現代人よりも適度の抵抗力・免疫力を身につけ強く逞しかったようにも感じられます。食品について、長年多方面の研究を続けてこられた講師のお話をお聞きして、私たちの日常生活を改めて御一緒に考えませんか！！

*みなさまのご来場と当日会場での沢山の御意見・御質問を心よりお待ちしております。

*** 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい ***

主 催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会
事務局 つくば市 市民活動課 市民活動係 (TEL: 029-836-1111 内線5144)

** お知らせ **

駐車場は有料となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

第62回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成19年7月14日(土) 午後2時から4時



場 所 つくばインフォメーションセンター 大会議室
(つくば市吾妻1-10-1 つくばセンタービル内 / バホール入口右側)

テーマ 私達の戦争体験を語り継ごう子や孫へ

戦争で被害を受けるのは無力な庶民です！年寄り・女性・子供達、そして下級兵士たち

講 師 弁護士

野 中 邦 子 氏

昭和20年8月15日、満州事変に端を発し第二次世界大戦にまで拡大した戦争は、日本の無条件降伏という形で終結しました。(いわゆる15年戦争です)それから62年の歳月が流れ、いくつもの紆余曲折を重ねながらでしたが、何とか平和国家として日本は今日まで歩んできました。爆撃で日本中の目ぼしい都市は焼野原と化し、ゼロからではない、マイナスからの再スタートを日本人は否応もなくせざるを得ませんでした。そこで努力に努力を重ね、いつの間にかアメリカに次ぐ世界第2の経済大国と云われるまでになりました。(最近は少々かげりが出ているようですが)

そして気がついたら、現在日本の人口の7割位が戦後生まれで占められ、戦後生まれの首相が誕生しました。更に驚いたことに、62年前、日本が第二次世界大戦の当事国で連合国に降伏した、という歴史的事実を知らない若い世代すら出現しているという信じられない事です。

今までの62年間もちろんですが、今でも世界のあちこちで思想・宗教・民族間の対立等様々な原因で部分的地域での戦争が絶えることがありませんでした。日本人は遠い国の出来事として看過してはいなかったでしょうか？日本人の意識の中から、かつて日本が戦争の当事国であったという事実は消えかけているのでしょうか？

62年間何とか日本が平和でいられたことは、戦争を体験した世代が平和の大切さを身にしみて感じ、守ろうとして来た結果だと思えます。これから10年経ったら戦争体験者はほんの一つまみの存在になり、子孫に語り継ぐことすら出来なくなります。今だからこそ、大事な戦争体験を風化させないように、私達は心掛けなければいけないのではないでしょうか？戦争末期、茨城県も爆撃の被害を受けました。ご存知でしたか？日立・勝田・水戸が戦災にあいました。つくばでも被害を受けます。講師はその体験者でもいらっしゃいます。

講師の貴重な戦争体験をお聞きして、日本にとって世界にとって平和の大切さを共に考えてみませんか？そして戦争の愚かしさ、悲惨さを次の世代に伝えて行きたいと思うのですが、皆さんはどのようにお考えですか？

御質問、御提案大歓迎です。御来場をお待ちしています。

*** 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい ***

主 催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会
事 務 局 つくば市 市民活動課 市民活動係 (TEL: 029-836-1111 内線5144)

**** お知らせ ****

駐車場は有料となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

第63回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成19年10月27日（土）午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター 大会議室
 （つくば市吾妻1-10-1 つくばセンタービル内 / バホール入口右側）



テーマ つくばは宝の山！

たくさんの研究集積と人材をどのように活かしていくか！そこが知りたい！

講 師 茨城県商工労働部長
 武 藤 賢 治 氏

「つくば研究学園都市」が、この地に姿を顕しはじめてから三十余年経過しつつあります。1985年の科学博実施決定を受ける迄は、松林や畑の広がった地域でした。住民達もどうなるのだろうか？と不安を感じた時代もありました。しかし、現在では、他に例をみない国の関与する研究所の多岐に亘る分野での研究。更に二百に近い民間研究所の進出も見られるようになりました。国立大学も2校、私立大学1校・・・文字通り一大「研究学園都市」に成長しました。住民から見ると、新聞・テレビ等でナノテクノロジーによる新素材の開発や、各種ロボットの開発・宇宙センターの本部移転に伴う、宇宙科学の「センター化」等々、外部から注目されています。加えて、10年に及ぶデフレ状況の最中に21世紀最後の鉄道といわれた「つくばエクスプレス」の開通もあり、これは決して単なる地域興しではありません。つくばの各研究機関群が多方面から注目されていることの証明ともいえるのではないのでしょうか。

しかし、一般市民から見るとまだまだ「研究学園都市」と称する、研究機関群は、地元と密着した存在には見えていません。2007年3月には、団塊の世代の定年を迎え、沢山の人が否応なく「野」に下らざるを得ません。三十余年の研究集積と「野」に下った人材を、地元で根をおろしてもらう方法はないのでしょうか？講師のお話をお聞きし、茨城にとって「宝の持ち腐れ」或いは「よそに持って行かれて産業化される」ようなことが起こらないように出来ないものか・・・皆様に考えてみませんか？もしすでに実現化している事業があるなら知りたいともおもいますが・・・皆様の御参加をお待ちしています。

*** 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい ***

主 催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会
 事務局 つくば市 市民活動課 市民活動係 (TEL: 029-836-1111 内線5144)

**** お知らせ ****

駐車場は近辺の有料駐車場となります。

産業祭のため混雑が予想されますので、お早めにお越し下さい。

第64回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成19年12月8日(土) 午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター 大会講室
(つくば市吾妻1-10-1 つくばセンタービル内 / バホール入口右側)



テーマ お能は日本のオペラです！その楽しみ方パート5

——— 歌舞伎は日本のオペレッタ！！

講 師 能楽師

はし おか のぶ あき
橋 岡 伸 明 氏

ここ十年余になるでしょうか？能と深い関係にある狂言師の方々は、外の世界(様々な方面)へ出て行き、種々なジャンルの演者と競演し、大きな成果をあげています。そのお陰で一般の人々も、知らぬ間に狂言に興味を持つようになって来ているように思われます。共に伝統芸能という共通の舞台で、一体化して演じられて来た能と狂言ですが、能だけは昔からの伝統を護り、他のジャンルとのコラボレーションを控えているように私達素人目には見えます。それも一つの「在り様」とは思われますが「能文化」を一般庶民が気易く、手の届き易い状態で鑑賞することが出来るように門戸を広く開くことも、その普及・発展に必要なことではないかとも考えるのですが・・・それは「能」の伝統を護りながらも可能ではないでしょうか？現に歌舞伎界では、中村勘三郎・板東玉三郎などが種々試みているのは周知のことです。

こここのところチャンスに恵まれなかった「能」の観客の裾野を開拓しようと努力をしている、若き能楽師橋岡伸明氏に、皆様からリクエストもいただいていたので、無理をお願いし久し振りにおいでいただく運びになりました。師走の忙しくなる直前の一時、何が飛び出すか？どのように楽しませて下さるか！

御期待下さい！

*** 予約等は必要ありません 当日で自由にご来場下さい ***

主 催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会
事務局 つくば市 市民活動課 市民活動係 (TEL: 029-836-1111 内線5144)

＊ ＊ お知らせ ＊ ＊

駐車場は近辺の有料駐車場となります。

師走の土曜日のため混雑が予想されますので、お早めにお越し下さい。

第65回つくば人間学講座

日時 平成20年2月23日（土）午後2時から4時

場所 つくばインフォメーションセンター 大会議室
(つくば市吾妻1-10-1 つくばセントビル内 /バホール入口右隣)



テーマ 「つくば」から「筑波」を觀てみよう！つくばの地域力・文化力

びっくり！万葉集4500余首中 筑波山の歌が25首！

講師 郷土史研究家

井坂敦實 氏

多くの方が何気なく「万葉・古事記の昔から」とか「万葉集・源氏物語の時代から」と万葉集を「つくば」の枕言葉のように使っています。ところが万葉集は、原文が全部漢字で書かれているので、その読み方・意味のとり方等々、昔から多くの学者により長期に亘り、研究がされておりますが通説はないようです。

専門家ではない私達が万葉の歌に触れたきっかけは、多分中学・高校の国語の教科書を通じてではなかったでしょうか？しかも「防人の歌」が今でもこの辺りの昔の住人の歌と信じている人が多いのでは？みなさまはいかがですか？

ところがどうでしょう！筑波山を詠んだ歌は、万葉集に25首あるのです。「防人の歌」はたったの5首。しかも作者は地元の人のごく一部とか。ちなみに、日本一の霊峰富士の歌は11首です。

その上驚きは、筑波山は役人として都（平安京）より下って来た都人達が多く詠んでいるのです。標高877mを山と言えるのかしら？と首を傾けたくなる「丘」の「兄貴分」位の筑波山ですが、平安の歌詠み達を十分に引きつける力を持っていたとは驚きではないでしょうか？

筑波山は現に日本百名山にも数えられています。20世紀の後半には、先端科学技術の集積を誇る「科学の街つくば」が出来ました。見たところ両極端の文化ともとれませんが、不思議な縁を感じます。筑波山は昔から信仰の山でした。長い間独自の文化を育てて来ています。

改めて「つくば」から「筑波」の地域力・文化力を万葉集を通して観てみるのはいかがでしょう！楽しい講師のお話を御期待下さい。御参加お待ちしております。

*** 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい ***
*** 入場は無料です ***

主催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会
事務局 つくば市 市民活動課 市民活動係 (TEL: 029-836-1111 内線5142)

**** お知らせ ****

駐車場は有料となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

第66回つくば人間学講座

回 覧

日 時 平成20年5月24日（土）午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター 大会議室
（つくば市吾妻1-10-1 つくばセンタービル内 / バホール入口右隣）



テーマ 「つくば」から「筑波」を觀てみよう！つくばの地域力・文化力
**びっくり！万葉集4500余首中
筑波山の歌が25首！パート2**

講 師 郷土史研究家

井坂敦實 氏

前回（第65回つくば人間学講座）は、130名を越す沢山の方々が当講座に御参加下さいました。企画致しました実行委員一同“びっくり”そして“感激”でした。

前回、万葉集そのものに興味をお持ちになった方々。「万葉集の4500余首の歌の中に、平安の都からはるか遠い辺境の地とも言える筑波山を詠んだ歌が25首もある」そんな信じられないような事実。信仰の山「筑波山」が持っている不思議な力・昔からの地域文化。それを21世紀の「つくば」から、13世紀も昔の「筑波」に溯って迫ってみようという興味をお持ちの方もいらっしゃるのではないかと勝手に想像してみました。

前回は万葉集の総論編だったと思います。今回はいよいよ本論に入ることになるのではと期待しています。皆様と講師のお話を楽しみ「万葉集」と「筑波山」の魅力を十分に味わいましょう！楽しい講師のお話を御期待下さい。みなさまの御参加とご意見・ご感想を歓迎致します。

* 予約等は必要ありません。当日ご自由にご来場下さい。 *

* 入場は無料です。但し、会場が満席になり次第入場をお断り致します。 *

主 催 つくば人間学講座実行委員会、つくば市

事務局 つくば市 市民活動課 市民活動係（TEL：029-836-1111 内線5142）

* * お 知 ら せ * *

駐車場は有料となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

第67回つくば人間学講座

回 覧

日 時 平成20年7月26日(土) 午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター 大会議室
(つくば市吾妻1-10-1 つくばセントビル内 / バホール入口右隣)



テーマ 「つくば」から「筑波」を親てみよう！つくばの地域力・文化力

びっくり！万葉集4500余首中 筑波山の歌が25首！パート3

講 師 郷土史研究家

井坂敦實氏

「研究学園都市」草創期から30余年を経た今、かつてはほとんど顧られることがなかった筑波山を詠んだ万葉集の歌に多くの住民が関心を持つようになりました。これは「何故かしら？」と興味深いものを感じます。

以前関西で、犬飼孝先生が逝去なさるまで万葉集を飛鳥の里紀行により、夫々のゆかりの地で、歌の解説と朗詠が長い間実施されてきました。それは、飛鳥の地許ならではのことと考えていましたが、21世紀の今「科学の街つくば」で形を変えて新しいものが生まれていますね！

講座の内容も段々熱を帯び、講師・参加者共に1300年の時空を越えたある種の一体感すら生じて来たように思えるのですが……。段々佳境に入って参ります。今回の講座も盛り上がるのが期待出来そうです。皆さまも御自由にご自分のご意見・ご質問をどうぞ！

前回(第66回つくば人間学講座)実施しました当講座も、パート1同様130名を超す方々が御参加下さいました。今回も満席になり次第、入場制限せざるを得ないことを前もってお知らせいたします。

会場は従来通りつくばインフォメーションセンターとなりますので、お間違えなくご来場下さい！

* 予約等は必要ありません。当日ご自由にご来場下さい。 *

* 入場は無料です。但し、会場が満席になり次第入場をお断り致します。 *

主 催 つくば人間学講座実行委員会、つくば市

事務局 つくば市 市民活動課 市民活動係 (TEL: 029-836-1111 内線5142)

** お知らせ **

駐車場は有料となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

第69回つくば人間学講座

日時 平成20年11月28日(金) 午後2時から4時

場所 アルスホール(つくば中央図書館 2階ホール 100席)
住所: つくば市吾妻2丁目8番地



テーマ 「つくば」から「筑波」を覗いてみよう! つくばの地域力・文化力

びっくり! 万葉集4500余首中 筑波山の歌が25首! パート5

講師 郷土史研究家

井坂敦寛氏

本年は、茨城県を会場に国民文化祭が行われるという特別な事情も考慮して「1300年前から万葉集の4500余首の中に25首も筑波山に関する和歌がある」という驚くような事実を知り、講師の郷土史研究家の立場で時間をかけて科学の街「つくば」から「筑波」を詠みといていただくということで企画しました。今回は、最終回となります。

最近になって、さらに驚いたことがありました。江戸時代の有名な画家の広重の名所江戸百景の版画の一つに「隅田川水神の森真崎(マッサキ)」と題する作品があります。

江戸の町から筑波山が充分朝に夕に眺めることができていたわけですね。関東の各地に昔(戦前まで)から「筑波講」という信仰のための集団がありました。そして、定期的に筑波山へそれぞれの地方からお参りに来ておりました。

このような事実があったことをご存じの方は今では少なくなっていることでしょう。

この習慣は特に関東では広く存在していたようです。現在ある筑波道の道標が登山道の名残です。

みなさまと盛り上がった講座にできるといいですね!

* 予約等は必要ありません。当日ご自由にご来場下さい。 *

* 入場は無料です。但し、会場が満席(100席)になり次第入場をお断り致します。 *

主催 つくば人間学講座実行委員会、つくば市

事務局 つくば市 市民活動課 市民活動係 (TEL: 029-836-1111 内線5142)

** お知らせ **

駐車場は有料となります。

会場周辺の駐車場は混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

第70回つくば人間学講座

回 覧

日 時 平成21年2月18日(水) 午後2時から4時

場 所 アルスホール(つくば中央図書館 2階ホール 100席)
住所: つくば市吾妻2丁目8番地



テーマ 歌舞伎は日本のオペレッタ!!

お能は日本のオペラです その楽しみ方パート6

講 師 能楽師

はし おか のぶ あき
橋 岡 伸 明 氏

今年度最後の講座は、久しぶりに若き能楽師 橋岡伸明氏にご登場していただきます。

橋岡氏は、その「能」の裾野を拡げ、沢山の人々、特に若者にも楽しめるようにしたい!と努力をしている若き能役者です。今回もどんな趣向で私達を驚かせ、楽しませてくれるでしょうか?前々回は、「土蜘蛛」の「くもの糸」を実際に楽しませて下さいました。当日、どんなお話が飛び出すかは、講師の「胸の内」です。「能」は日本のオペラです。

お能の世界の話に限られた時間と空間の中でどのように繰り広げられますかご期待下さい!

*当講座は、年5回、14年間の歳月を経て、いつの間にか70回目を数えるに到りました。

企画、講師の手配など、運営委員会で話し合いながら今日まで楽しく続けて来られましたことは、興味を感じ、夫々の講座に御参加下さいましたみなさまの支えがあったためと心から感謝しております。

本講座も多くのみなさまの御参加をお待ちしております。

予約等は必要ありません。当日で自由にご来場下さい。

入場は無料です。但し、会場が満席(100席)になり次第入場をお断り致します。

主 催 つくば人間学講座実行委員会、つくば市
事 務 局 つくば市 市民活動課 市民活動係 (TEL: 029-836-1111 内線5142)

* * お 知 ら せ * *

駐車場は有料となります。

会場周辺の駐車場は混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。